

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成31年2月21日

①学校名:	久留米工業大学	②所在地:	福岡県久留米市上津町2228-66				
③課程名:	IoT時代の機械設計技術者講座	④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2019/10/1		
⑥責任者:	地域連携センター長 大森 洋子	⑦定員:	5名	⑧期間:	6ヶ月		
⑨申請する課程の目的・概要:	近年の製造業では、設計データのデジタル化に加えてIoT技術を活用した見える化が要求されている。そこで本プログラムでは、IoT技術を活用できる機械設計技術者を養成することを目的として、3D CAD/CAMを用いたデジタルアプリケーションおよびIoTを用いたセンシングに関する演習を実施する。						
⑩4テーマへの該当の有無	中小企業活性化	⑪履修資格:	学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者				
⑫対象とする職業の種類:	製造業における設計業務に従事する者						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) CAD/CAM技術、メカトロニクス、プログラミング言語 組み込み技術		(得られる能力) 機械設計・加工、電子回路設計・製作 プログラミング				
⑭教育課程:	「メカトロ工学」や「3D CAD/CAM演習」をベースに、受講者のレベルに応じて「組み込み制御システム」や「機構・機械要素設計」、「機械製図」を選択させることにより、機械設計やIoTの基礎知識を習得させるとともに、「ものづくり実践演習」においてIoTを活用する機械設計を実施し、デジタルファブ리케이션およびIoTを用いた見える化を修得する。						
⑮修了要件(修了授業時数等):	必修科目60時間以上の履修および認定試験の合格による修了認定						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書						
⑰総授業時数:	85 時間	⑱要件該当授業時数:	75時間	該当要件	双方向実務家	⑲要件該当授業時数／総授業時数:	88%
⑳成績評価の方法:	出席状況、演習課題に対する成績、レポートを総合的に評価する。						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。本講座受講生に対して、面談・アンケート調査を実施し、その結果を講座担当の教員や地域連携センターメンバーからなるBP事業実行委員会において分析し、本プログラムのアウトプット検証や評価を行う。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	下記調査を定期的実施し、結果をBP事業実行委員会で分析することにより効果を検証する。 ・修了生に対して、電話やメールを使った追跡調査を定期的実施する。 ・修了生の職場を訪問し、本人や上司との面談を実施する。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 外部(産学官)有識者から構成される教育研究推進外部評価委員会、地元企業から構成される地域連携推進協議会、地域連携センター所属のコーディネーターによる企業訪問を実施し、その内容をBP事業実行委員会にフィードバック・検討することにより教育課程の編成に企業の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 上記修了生職場の面談結果、教育研究推進外部評価委員会議事録、地域連携推進協議会議事録、コーディネーターによる訪問結果を集約し、それを自己点検評価委員会で精査する。その精査結果をBP事業実行員会にフィードバックして企業等の意見を反映させる。						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	オンライン講義、週末の開講、WEBを用いた理解度確認テスト						
㉕ホームページ:	(URL) http://www.kurume-it.ac.jp/						

事務担当者名:	江寄 由美子	所属部署:	政策企画課
連絡先:	(電話番号) 0942-22-2345 (E-mail) yumiko@kurume-it.ac.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。